

目や耳が不自由な人へ
三芳町の情報を届けるために
活動している団体をご紹介します！

広報みよし大好きです！



今年で30周年を迎える朗読ボランティアの会「けやき」は現在16人。広報みよしを朗読し「声の広報」としてお届け。文字以外の写真などもしっかりイメージできるように、心を込めて吹き込みを行っています。

朗読ボランティアけやき

問 ☎ 049-259-0259 担当：山本

気軽にご参加ください！



点字を打つ音から名づけられた「点字サークルとんとん」。広報みよしの一部やゴミカレンダーなどを点字にして提供しています。相手にわかりやすく伝わる表現を心がけ、楽しみながら活動を続けて、25年になりました。

点字サークルとんとん

問 ☎ 049-259-2483 担当：保坂

広報みよしを読みやすい3つのPOINT

POINT01 ユニバーサルデザインを意識。文字と文章



同じ文字でも、より可読性や認知性の高いUD（ユニバーサルデザイン）書体を使用し、優しい紙面づくりをしています。また、お役所言葉を使わずに、要点を絞り、お年寄りから子どもまで、理解できるようにアイコンやピクトグラムを使い、言葉以外の方法で情報を伝える工夫も行っています。

POINT02 分かりやすい工夫。デザイン・レイアウト・色使い



情報の約9割は視覚から得られるといわれています。読みたいと思われるレイアウト、見て楽しい、読んで面白い広報をめざし、さらに目に優しい配色を考え、色数を抑えています。直感的に理解できるようにアイコンやピクトグラムを使い、言葉以外の方法で情報を伝える工夫も行っています。

POINT03 脳裏に焼き付く写真



住民の皆さんの生き生きとした表情や活動、みよしまつりの花火やこぶしの里のホタルなど、町の魅力を写真を通じて届けるため、心を込めて写真撮影を行っています。広報みよし以外にもFacebookやInstagramなどのSNSでも写真を活用し、町のPRを行っています。

環境に優しい広報紙

現在、広報みよしの印刷・製本は町内企業の「岩岡印刷工業株式会社」が行っています。薄紙印刷技術に関わる特許を開発し、その技術は広報みよしにも活かされ、省スペース化や重量軽減の恩恵による配送車のCO2排出削減など環境に配慮。GPマークを広報みよしの裏表紙に掲載するなど環境貢献活動も行いながら、高い品質の印刷物を三芳町から全国に届けています。



岩岡印刷工業株式会社 〒354-0044 三芳町北永井 157-3
IWAOKA CORPORATION ☎ 049-258-6111

広報みよしでは、町のことを掘り下げて「特集」しています。バックナンバーは町のWEBサイトで！→



「暮らし」に関する特集

- H 27.7 「美味しい、健康生活。」
- H 26.12 「子育て特集」
- H 28.3 「住人十色」（障害者差別解消法）



「魅力」に関する特集

- H 27.8 「三芳創生トカイナカ」
- H 28.6 「オモイデヒカル」（ホテル）
- H 29.9 「FAN=FUN 三芳町」



「文化」に関する特集

- H 29.12 「愛しさ、募る。」（伝統芸能）
- H 25.12 「感謝。」（三富新田など）
- H 25.5 「みよしの映画人。」



「生活」に関する特集

- H 27.9 「地域を地域が守る。」
- H 27.6 「認知症、じぶん事。」
- H 26.9 「My Color」

愛されるヒミツ。

優しい、
広報紙。

読む価値、意味のあるものを作り、読みやすさ、分かりやすさも追求。実は環境などにも配慮しています。

広報は料理と一緒に

三芳町のことを、もっと知ってほしいから――。

広報みよしでは三芳町の魅力や旬な情報、行政がしっかり伝えなければならぬものの特集記事で紹介。雑誌やインターネットでは見られない、三芳町に密着した情報を掘り下げ、しっかりと取材をします。

広報作りは料理と一緒に。素材がよくても、調理が失敗してしまえば、美味しいものは作れません。また、盛り付けが良くても、見た目だけで美味しくないものもあります。これを広報に置き換えると、町の旬な情報や輝く人たちがいたとしても、文章や写真、レイ

アウト・デザイン、切り口がしっかりしていないと、読み手に想いが届かない、情報が伝わらず、読む価値がないものになってしまいます。また、見た目だけを重視しても、内容が伝わらなければ意味がありません。

さらに、広報みよしでは、読みやすいUD書体を使用。文字や書体にも気を配り、お役所言葉を使わず、わかりやすい文章になるように、何度もチェックします。

一方、目に優しい配色を意識しながら、図解や表、アイコンなども多用。読み手の気持ちを常に考え、シンプルなデザイン・レイアウトで直感的に分かりやすく、見やすい広報作りを心がけています。



寄せられたお手紙

障害者差別解消法の合理的配慮にも繋がる

UDに配慮した読みやすく分かりやすい書体を使うことや、カタボケの音声読み上げ、文字のポップアップ機能は障がいのある人をサポートできます。2年前に始まった障害者差別解消法で明記されている合理的配慮。これらのツールを使うことが、三芳町にとって「暮らしやすさ・住みやすさ」のアピールや、住民サービスの向上にもなると思います。

株式会社モリサワ
メディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザー
小野 大輔さん



が出るAR（拡張現実）を全国自治体に先駆けて導入（自製によりコスト0円）。専用アプリをインストールすることで、写真にスマホをかざすと写真が動きます。

町内の人にはどこでも広報みよしを、町外の人や外国人、世界中へ広報を通じて三芳町の魅力を伝えていきます。スマホを活用し、自治体広報紙の可能性を広げている取り組みは、全国から注目されています。

自治体広報紙として日本で初めて多言語アプリ「カタボケ」を2015年に導入。日本語・英語・韓国語・中国語（繁体・简体）・タイ語・ポルトガル語の7言語で広報みよしを読むことができ、外国人や世界に向けて情報発信を実施。また、文字を読み上げることができ、例えば料理をしながら広報みよしの情報を聞くということも可能です。

一方、動きのある手話を動画で分かりやすく伝えたり、若い人にも広報紙に興味を持ってもらうため、音

近未来型の広報紙
日本初の多言語対応

三芳町民以外の人や、通勤途中など、どこにいても広報みよしを読んだだけのように、スマホを活用した情報発信をしています。



2014年1月号から導入したAR。全国自治体の先駆けとなり、メディアでも取り上げられました。

